

# 談話会通信 No.19

東京蜘蛛談話会

入会・住所変更	.....	P.1
活動・秋の観察採集会	.....	P.1
談話会51年度決算報告	.....	P.7
KISHIDAIA No.42について	.....	P.8

セミの音が虫の音にかわりました。これからおちついた季節をむかえます。野にはススキもちらほら。東北ではカマズミの葉が色す。せはじめるのもあわすかではないでしょうか。忙しい時期の方もいらっしゃると思いますが、大切な事項もあります。通信内容におけた部分には目をお通しください。(日本各地 どのような十五夜をむかえるのでしょうか。) 田中

## 新会員の紹介・住所変更

▶入会：東亜蜘蛛学会のありかた6名の方に、原休みに入つてすぐに、と入会希望の連絡を多くいただく。今号で7名の新会員の方を紹介できます。今後よろしくお願ひいたします。

谷川明男さん 〒300-31 茨城県新治郡桜村天久保2-1-1  
筑波大学 学生宿舎 10-301

高井俊行さん 〒300-31 茨城県新治郡桜村天久保2-1-1  
筑波大学 学生宿舎 10-201

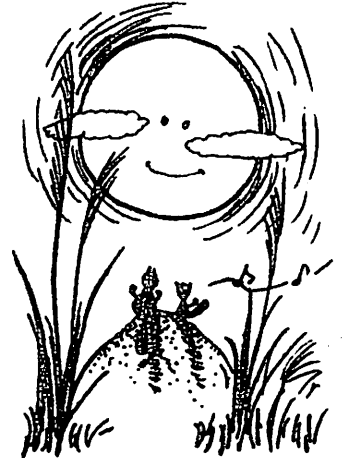
中平 清さん 〒780-02 高知県香川郡春野町芳原600

河井安子さん 〒545 大阪市阿倍野区共立通 1-2-3

渡辺好彦さん 〒558 大阪市浪速区日本橋5丁目50

水沢正明さん 〒940-11 新潟県長岡市曲新町3-13-1 長岡養蚕高校

井伊伸夫さん 〒300-31 茨城県新治郡桜村竹園3丁目302棟 709号



▶住所変更の連絡をいたたいてあります。

福本伸男さん 〒671-16 兵庫県播磨郡揖保川町幸田橋 946-9 TEL.079172-4710

## 秋の観察採集会 10月9日(日)

秋の観察採集会をおこないます。場所は夏の場所と同じ八王子城跡でおこないます。夏のことを思い出しながら探してみるのも何か別の発見ができて良いと思ひますが、いかがでしょうか。

日時：10月9日(日) 午前10時集合

集合場所：中央線 高尾駅北口

観察場所：八王子城跡(造形大学方面)

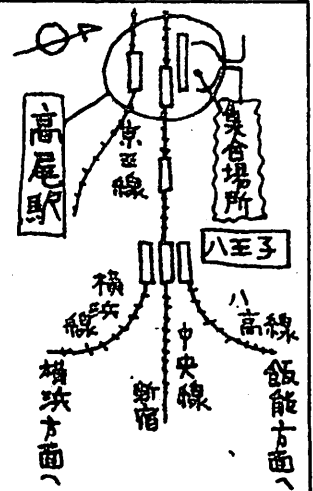
持参物：昼食・すいとん 採集用具など

交通：右図

※雨天決行

《連絡先》高橋登 TEL.044-288-2921

以上 東京蜘蛛談話会





# きんぐれ ポスト

No.19では 観察会の感想、紀行文と、話題が豊富です。愛のみなさんの行動報告といったところでどうか。

## ▶ 夏の観察採集会 並木敏一氏

八王子城跡で行なわれた採集会に参加し大変勉強になりました。都内に家があり、採集会にも出られますし、幸せに思っております。私にとって今回の採集会で3度目の採集会参加ですが、すべてと言ってよいほど見る物、聞く物、新しいことは「かりて」した。本などで入る知識もすべて「すが」、私のような初心者には、実際に採集に行き目で見て指で触れるということの方が、何となく印象強く残ります。

今回は写真ばかりでいて採集がほとんどできなかった。しかもたかオウゴンモを粘着テープにつけていたハツリクモ、コシを水筒につけていたオウゴンモ等、初めて見るものがあつきました。ほんとうに勉強になりました。これからますます多く採集に行なつて下さるようお願いいたします。

(7月31日の採集観察会)

## ▶ 北海道ミスグモ探索紀行

佐藤 幸子さん

昭和52年7月11日 公本、新海、熊田、佐藤の4名不安と期待に胸ふくらませながら、厚岸を過ぎて東京を出発した。羽田空港到着早々、釧路空港濃霧のため着陸不能として、とりあえず4歳空港へむけて着陸、千歳空港から釧路までタクシーを飛ばしたが、途中日高にて昼食の折、K氏素早く、セクロハエトリ也を採集。17:00 釧路空港にてレンタカーに乗り替、東梅毎の高田氏宅(風露荘)へ一目散。M氏、K氏の運転で取、たり、さわいたりのにぎやかな道中の内、日はとっぴりと暮れ、空気もこえて寒い中を大分行きすぎて引き返し、途中まじむかえに出ひえた高野、高田氏両氏に無事めぐりあい、めでたくゴールイン。夕食を待たず、早急風露荘周辺のクモを採集する。

7月12日 新選組の採集活動は文字通り朝飯前に始まった。さすがに北海道らしきクモ重々々と姿を現わす。10:00 高野、高田両氏の案内で春国低(シュクニタイ)へ、イシカリコモリクモを求めて出発。途中はからずもタンチョウツル2羽を発見、一同しばししみとれる。ハマナスのみたれ味くオホーツク海の砂浜には沢山穴はかいていたが、皆仔クモは「かりて」ガツカリ。夜暗な時は観察しようという事にて霧多布へ向けて出発。途中次中原生花園に入り池という池を探して歩いた。湿地帯なので非常に歩きにくい。とうとうK氏の長靴が沈没、ミスグモは見あたりず、おさめて霧多布岬へ移動。記念撮影の後、霧多布湿原の中の池も一つ一つ立ち寄って見たが、水面よりずっと手前から長ぐつのもぐる位の草原が、なごかり立ち入る事が出来ず、ミスグモを採集するためには、池の上を渡るゴムボートと長クツも命にけつる危険な道に、霧多布湿原の池を渡る事を確認し、霧多布岬へむけて出発する。



六番沢をぬけたところで2度は「かり車」を止めて採集。(蚊とアブの猛襲になやまされ) 18:15 風露荘帰着。夜食後高野氏をかくえ、風 道湖へ夜間採集にむかう。やはり、蚊、アブに襲われ首筋や頬がジカボコになる。北海道では虫よけスプレーや蚊取り線香があまり頼りにならないこと痛感する。

7月13日 9:00 高田氏をかくえ6名でミスグモを求めて、根室湿原へ出発。ムカマツコへ到着すると、あ、たばすのせがなくて

なっており、そのまま周辺を採集。東梅にむく途中、大小2つの池に立ち寄ったがいずれも思わしくなく、11:45打ち止める。風露荘の前を通り根室地震の時被害を受けたという広大な湿原、フレシマに行き見て見たがやはり思わしくなく小雨が降り出し寒気もきびしく14:00帰途につく。高野氏マタニに会いつかれる。夕食後、待望の夜間観察に出発。海岸に着くと大きな穴が沢山あって、ライトで照らすとシカゴモリクモの大きな産卵が上をむいてびっくらしていた。中には大きなお尻を見せているものもあり気をもんでウロウロ歩き回ると、あぶなくてウツカリ歩けない程だ。朝の様子をみるために目標の棒を5~6本立て皆満足して帰途についた。

7月14日 9:40 春園岱に出発。前夜棒を立てておいた所をしらべ噴霧器で砂をしめて見ると糸で裏打をした入口がよくわかり、ピンセットで穴をあけて見ると昨夜と同じ大きな姿を見る事ができた。(棒を立てておかなければ「タタ」の砂浜で、下にゴモリクモが棲息しているなどとは夢にもわからない。)さかさういさなホースを各自撮影。そこで一句『北海の東海の石炭の自砂に皆よろこびてクモとたわむる』? たわむれすぎたK氏かみつかれの一幕もあった。なお、今車月の二大珍事其の1 ゆうべ止まった所をさかしてがしゃット車を止めて外へおたトタン、それを待ちかかっていたかのようにM氏所有の根掘りが車のそばに横たかっていた。其の上、その帰りK氏運転で悪路をホコンホコンと飛びはねながら風露荘にたどり着き外へ出てみると車のトランクの上に露出計(K氏所有)がチョコンと乗っていた。10:30 風露荘を後にルート44を西へ。所々の馬場に寄って入場券を2枚ずつ買いながら(?) 摩周湖を目指す。途中大別にて採集14:30 摩周湖着採集に取りかかる。16:00採集終了阿寒湖へ。17:30阿寒湖着エゾトゲクモの生息地へ。夕食後稲荷神社へ採集に行き、帰りの林の中でキハオモクモをみて帰る。

7月15日 8:30 峠阿寒オンチーへ向い採集の後、釧路空港へ向い空港近辺の林で最後の採集を行う。15:30発の飛行機で無事羽田到着。今回の北海道行もふりかえりみると、楽な行程、日本新記録、北海道新記録等出てマアアの結果だった。

▶ 読書の秋にふさわしく?

埼玉の嶋田順一さんから、クモについての記事をいただきました。

8月24日(水)に買った『少年サンデー』(No.38 P.100~101)にクモのことがでておりました。「豆虫の特訓」というページで、毎週異なったテーマで、そのテーマにした質問が20個あり読者がそれに答えるようになっている。

今回は「クモの巻」でやはり20問の質問がありました。そのうち3つばかり紹介しておきます。

Q 2 クモは鳴くのだろうか?

- ① 鳴くクモもいる。
- ② どのクモも鳴く。
- ③ どのクモも鳴かない。

Q 3 クモの血液はどんな色をしているか?

- ① 茶色 ② 青色 ③ 無色

Q 20 フジのうち実際にいないのは?

- ① ウラシマクモ
- ② オトヒメクモ
- ③ リュウグウクモ

また質問とは別に「高所恐怖症」のジョロウクモがつかれておりました。

(みなさん、いくつわかりましたか。なお、正解もよせられてありますので、以下に記します。さかさにしてみてください。)

クモの血液の色は茶色(1)です。  
 フジのうち実際にいないのはウラシマクモ(1)です。  
 クモは鳴くクモもいます(1)です。  
 クモの血液の色は茶色(1)です。  
 フジのうち実際にいないのはウラシマクモ(1)です。

この記事をのせたら大反対の意見  
が殺到するのではと心配半分、取心ず  
かし半分なのですが…(巻女についての)  
話の方が心配。

## 美男美女二話

小沢實樹<sup>さん</sup>  
からよせられた

(その1)

「萱山鳥先生と女性」といえばまさにヒラタリ  
の話。でも反面なにかほど遠いような。それは  
ともかく女性週刊誌のトップクラスである  
「女性自身」の夏休み特大号(8月25日、9月1日  
合併号)に先生が登場されました。「クモ  
をヤットにしている」といえば、世間ではまさに  
奇人、変人の類であるらしく、このあたりが、編  
集氏の興味でもあったのでしよう。しかしな  
かなか真白面な「動物ストーリー」となって  
いましたし、東京蜘蛛談話会のPRまで  
入っていました。むしろのことは、「後継者  
育成にかけているのか」……とあった  
のは、女性誌である以上、編集氏が、  
当然ながら女性会員の方々と筆を  
かえたようです。ともあれクモはクモとして記事  
にすべく美男子をほり出すのはさすが。  
「女性自身」うまいとこで感心しました。

(その2)

「文明のなかの六本脚」という本の中に、  
こんな一節がありました。「——ほくの  
研究室にクモに魁せられた若い女性研  
究者が寄宿し、——」とこれはなんとも  
きのある素晴らしい一節ではありませんか。  
(クモ)(魁せられた)(若い女性)こんなことは  
ならぶだけでも神秘的なほどに私には  
感じられました。連想ゲームではありませんが  
世界一の美女ではないかと思ったのです。  
6本脚というからには、虫の話ばかりかと思  
っていましたが、すばらしい書物です。梅谷  
献=著、築地書館から7月に初版が  
出たばかりです。著者紹介に栗樹試験  
場 虫害研究室長と記されています。昆虫界

ではもちろん知名です。そう云えば以前、  
女性の談話会員で栗原さんという方が  
この研究室に居ると仰いました。そして、い  
つかこの美しい人に お目にかかりたいと思  
いました。談話会通信の編集がこれも  
女性の田中さんでありどうしてこんなに虫と  
つきあう女性たちは、美しい人が多いのでし  
ょうか。それにつけてもクモや虫とつき合う人  
達は、こんな表現がふっと出るた「ク、やっほ  
り ロマンティストが多いんだな」と思  
いました。

加藤実子さんから 町田市でも緑  
にめぐまれた王川大学で 蜘蛛をみて  
いる女性 実子さんから 7月2日すけで  
手紙をいただきました。

——略—— 学校で近藤さん(会員の方)  
から「KISHIDAIA」を受け取りまして、しかり  
と言ってみると、談話会の人々の日常の  
クモの研究の積み重ねの貴重さをセフ  
ジツに感じさせられました。通信に引き  
続いて仲間の存在を感じたわけです。今  
の私には、談話会通信や「KISHIDAIA」な  
どの機関誌は、本当に貴重な刺激に  
なるような気がします。

### [学園近景]

クラスゴキウモの巻女が例年になく多く  
またその大半は円網の中心に横に  
なつてついています。(5月下旬に確認)また  
例年はよく農学部前のユッカランに巣  
を作っていた サツマミダ「マシヤフキ」ロサ  
ツマノミダ「マシ」は、ユッカランにはみあた  
らなく、学園構外に出てさらに5~60m  
くらい行った所にみられました。またコガ  
ネグモが人通りの多い道のわきに巣を作り  
その姿は本当に芸術作品のようです。  
(今はただ 毎日毎日その巣の前を行ったり来  
たりして その身を守っていますが、通り魔  
におそわれなければよいのですか……)  
コガネグモは観察会コース上に かなり  
見られ、コガタコガネや(ほほ成体)が  
コガネ(幼体)の巻女もかなり確認され  
ています。また毎年確認しているカガクモ

か、いつもの場所にはまったくみられなくなりました。他の場所では確認しています。生息地が突然移動することが考えられるのでしょうか。

気の付くことはこの位であると思います。観覧会はたいてい昼休み(12:00~1:00 P.M.)か放課後(4:30~6:00 P.M.)におこなっています。野中長のつけ方にあまり自信がありませんので、これからはちょっと工夫してみようかなどと考えています。——中略——乱筆乱文たいへん失礼いたしました。

7/2

### ▶ 鈴木勝浩さんからクモに関する記事を!

ある本で「クモ」の使われた語をみつけることができました。

あまりクモなどの研究・観察には役にたたないとおもいますが、でも「欧州人やアジア人などの人間性など」を知るには、わずかにではありますが参考になるとおもわれます。(全く参考にならないかもしれませんか?)

「クモ」が思役として書かれているのが、ちょっと残念ですが、でも「最後まで巣を守る」と書かれているので……クモは根気強いのかも知れません。

#### 「動物故事物語」

賀吉達郎著

河出書房新社

(P.36, F段 L17~P37, 上段 L.22)

アジア人は家の観念が基本になって生きていく。家族主義のどこか悪いのか、少しも証明されたことはない。と言っていた青年もある。そこで「ウエトナムには、「クモでさえ最後まで巣を守る」という言葉がある。一人で富んでいるより、貧しくても大世帯で暮らす方がずっと喜んだ」という意味の金言もあるそうだ。

孤独な富豪が、車の上から路傍の貧乏人の家へ、わいわい集まると、大世帯の男やその子供がさわいて、いるのを眺めて、ぼつと吐息をつく。富を追求している中に

一番大切なものを彼は忘れたのである。人に嫌われるクモでさえも巣をささまで守るではないか。

——この強固な「家」に基礎もあいた宿和のウエトナム人の強さが、漢の光武帝元の世祖(フヒライ)日月の成祖、そういって一世に傑出する英雄の征服欲からフランス、アメリカの帝国主義・植民地主義世界系至望の野望にいたるまで「カ」としてはねかえし、独立を守るささまで底力となった。

そこへゆくとわが国にはクモを使った

たとえには、「クモの子を散らすように」という常套句のほかは、めばしいものはない。そのわが国が、ここ30年、今にも滅ぶるかのような危機感を説く論説が、「汗牛充棟もたたみならず」というほど書かれたが、いっこうに「巨大な竜が死のうとしていた」(小松左京「日本沈没」より)という時代はない。いつもぐらついているが、怪れるとこまでいがないのか、中身がすっかり腐っているか、外骨格が丈夫なので、生きのびられるのか。「百足(むやくあし)の虫は死すとも潰れず」というのはこのことだ。3う。足が百本もあるので、生命はとうになくなっていても、生きているかのように立っている。

### ▶ マインツイ更り

< SAPPORO-ICHIBAN >

GINZA: しょう油味  
MIKADA: 塩味  
FUJI-YAMA: みそ味



通信15号(2頁)に即席ラーメンのことを書きました。答えておきます。

# 談話室

「談話室・けいじはん」といっしう まぎらわしいページがあります。きまぐれホストはみなさんからよせられるなまの声のページであることはあわかりたいと思います。けいじはんのページはみなさんに直接連絡したい内容を常にあつかっています。(原稿募集・会費関係 文庫について)会費関係で「問い合わせたいとき、最近の文庫」がほしいときなど「けいじはんをみてください」。談話室では、運営委員会に入ってくる情報、事務局からの連絡、けいじはんで連絡不足のものなどをあつかいます。(田中)

## 世界のクモ罟

8月20・21日と東亜蜘蛛学会大会が東京で開催されました。生態・分類と広い発表内容でした。世界のクモ屋さんの話も紹介されました。ゆたのんびり屋の私ですが、やはり世界の様子を知りたくなります。ここに松本さんからよせられた興味ある内容の原稿が、あはすので紹介します。(田中)

G. D. A編 (1977) *Liste des Travaux Arachnologiques parus en 1976 ou actuellement sous presse* が手に入りました。クモ類の文献は、1~369の番号が付されたものと、付録が Nos. 1-2 とついています。その内分けは、1975年発行のものか 98報、1976年か 193報、1977年か 1報、として印刷中のものが 117報 となっています。

さて 日本人のものはどうかといまると、1976年に発表されている著者は、延べにして 25名 ありました。クモに関係しているものにとつては、この25という報は、実に少ないもの と思えます。リストをみていると単行本や論文の書評やチェックリストなどもみられますから、それに該当する日本のものを甚か定に入れれば、もっと多くなると思います。遠隔国のことですから、また言語も全く違う国のことですから、世界を相手にと思うと大変な努力が必要となるでしょう。談話室員も張り張りしましょう。(松本)

## クモに魅せられて

### 談話室伝説???

採集と飼育 (1977. 4) 同好会紹介の欄に東京クモ談話室紹介 (p173) がのりました。新海さんが紹介されました。内容は、同会の結成、活動、会誌、概要が主です。一部をまとめて紹介いたします。

▶結成 同会の結成は1967(昭和42)年1月というから今年で10年になる。[これについては本号「けいじはん-もう10年-の欄をもうごらん下さい。] 会員は小・中・高の教師、国鉄職員などで、東京・神奈川を中心に現在79名[本号で紹介した方がくわわりまして86名になっています。] なかでも20代が圧倒的に多いという若い会である。「日本野鳥の会」などにも所属している「他の分野」からの参加者もいるが、その大半は「クモ」だけに熱中しているという人々である。一中略一

談話室は「武蔵野自然研究会」の中で、クモに興味をもつ教員が集まったことからはじめた。同好会はもちろし、研究者でも、クモを取り扱っている人は少ない。はじめは、4~5人が集まる程度で採集会も武蔵野自然研究会と合同でおこなっていた。会員が10人ぐらいいなくなって、はじめて会として会員をつつた。

▶活動 初の例会は1970(昭和45)年11月。何人の出席者がおるかとい西己されたが、30名ほどが出席しますますと一同ほっとした。以後その翌年初の採集会もかわきりに——活動力がよかよかになってきている。(以上)

## DRAGLINE

ドラックライン(しおり糸)の原稿をどうぞ。ちょっとさらくに考えて、出してみよう。埋もれてはいそうな小さな観察も記録して、みせて7みあげませんか。KISHIDAIA No. 42 出てに 出してみましよう。

昭和51年1月1日から昭和51年12月31日までの  
談話会 昭和51年度 決算報告をしていただき  
ました。わからない点などありましたら事務局  
へおよせください。

# 決算ほうこく

## 会計より

東京蜘蛛談話会 昭和51年度 決算報告書  
(昭和51年1月1日～昭和51年12月31日)

収入の部	153,460-
前年度繰越金	27,593-
会費	82,400-
寄付	10,850-
パンクナンバー売上	15,950-
(例会, 后何例会) (雑集金, 同定金) 残金繰入	16,667-
	(※合同例会費は 各談話会に入る。)

支出の部	99,265-
印刷費	72,500- (KISHIDAIA No.40)
会誌送料	7,400-
談話会通信送料	14,000-
その他送料	2,100-
事務費	1,265-
例会写真代	2,000-

差引残金(52年度繰越) 54,195-

会計: 新海栄一

上記の通り相違ありません

監査: 大河内哲二  
福本伸男

# ワビばん

## ▶ 決算報告

東京蜘蛛談話会 昭和51年度決算報告  
をP7にのせました。ご質問がありましたら  
事務局におよせ下さい。

〈事務局〉

新海写真館内 東京都国分寺市本多1-6-6  
(新海栄一)

## ▶ 自己紹介にご協力を。

談話会には 86名もの会員の方がいらしゃい  
ます。前の通信で紹介をしたことがあります。ぜひ  
みなさんおひとりずつの紹介をしたいと思います。  
日ごろ自分の地方の人で名前は知っていても連  
絡はくったり、同じ数年の人と情報交換をしたい  
けれどと思われたことはないでしょうか。通信部  
と個人とのつながりだけでなく、談話会員ど  
うしの連絡もぜひなさってほしいと考えます。そこで  
こんなことをしています、職業のこと、学生である  
こと、自分の地方の様子、等の簡単な自己紹介  
を通信にいただければ幸いです。  
ぜひご協力をお願いいたします。

(通信1系より)

# もう10年!

— KISHIDAIA 42号原稿募集

談話会も早いもので、今年で10年を迎え  
る事となりました。これを記念する特別な  
企画はありませんが、長年談話会に参加  
されている方から、最近入会された方まで、会  
に対する感想などを書いていただくのは、  
幸いです。

〈42号内容予告〉  
(現在までの投稿と予定)

- ・10周年に関して  
 荻嶋泉氏 松本誠治氏
- 一般投稿

- ・一般投稿  
 生態観察 ..... 一篇  
 分布 ..... 一篇  
 紀行 ..... 一篇

## ・ 談話会関係

1976年夏の合宿観察採集会報告  
新海栄一氏

42号は年2回発行の足がかり  
となるもので、25頁前後の内容と  
なります。しかし誌面にはまだまだ  
余裕がありますので是非投稿をお  
願いたします。

〈投稿については〉

- ・原稿用紙をお使い下さい。
- ・投稿規定は通信15号(1977.2.28)  
をごらんください。

・原稿締切りは 1977年

**10月30日**です。

・原稿受付

〒221 神奈川県横浜市神奈川区  
片倉町 199

熊田 寛一

今年の夏はいかがでしたでしょうか。通信を  
おくりだすころ瑞穂町は夜ともなると、  
スズムシカンタンの声かきり、庭のクモたち  
をみると、もうジョロウグモはたいてい成長し  
ていますし、ヒジョオニグモの卵もみつけ  
られます。アズチグモは卵のうをつくりました。  
次回は晩秋におめにかかれそうです。卵のう  
の観察などありましたらお寄せ下さい。(田中)

## 東京蜘蛛談話会

本部：〒191

東京都日野市豊田 1896

荻山島 泉方 TEL.0425(81)7128

発行責任者：(通信原稿受付)

〒190-12

東京都西多摩郡瑞穂町武蔵41

田中理恵 TEL.0425(57)0355

通信 No. 19